

## 水元技術士会による室蘭工業大学 キャリアデザイン講義の実施報告

水元技術士会では、室蘭工業大学キャリア・サポート・センター長の相津佳永特任教授からの要請を受けて、本学の2年生を対象にしたキャリアデザイン講義の講師として4名の同窓技術士を派遣し講演を行いました。

本講演の目的は、各講師の「技術士としてのキャリア」から、「技術者の仕事・生き方」・「技術士の仕事」等を学び、学生のキャリアプラン形成の参考としてもらうことを目的としました。

水元技術会では、平成21~28年の7年間、当時のキャリア・サポート・センター長の高井俊次特任教授のもとでキャリアデザイン学習の1コマを担当させていただいた実績があり、今回の講師派遣は7年振りになります。

### (1) 実施日時

令和7年11月26日(水)

10:25~11:55：創造工学科、12:55~14:25：システム理化学科、17:00~18:30：夜間主コース

### (2) 講義の次第（全体で90分）

表1に講義の流れや各講師の講演タイトルを示します。

表1 講義の流れおよび各講師の講演タイトル

タイトル	講演者	講演時間	内容
挨拶	相津先生	2分	今日の講義の概要説明
キャリアデザイン	田中 輝幸 昭和51年、開発卒	13分	今日の講義の総括的説明 ・水元技術士会 ・技術士制度 ・同窓会 ・講義の流れ
キャリアはデザインできるのか ～神保祐一の場合～	神保 祐一 平成19年、機械(院)卒	20分	キャリアの説明
ゼネコンでのキャリアデザイン	三井 功如 平成4年、土木卒	20分	キャリアの説明
技術系公務員としてのキャリア デザイン～札幌市役所での勤務 を振り返って～	伴野 純一 昭和61年、土木卒	20分	キャリアの説明
質疑応答	熊倉 聰 平成2年、開発卒	15分	質問、アンケート

### (3) 講義風景

講義は、選択科目になりますが、大勢の方に出席していただきました。出席人数は以下の通りです。

- ・創造工学科 : 70 名
- ・システム理化学科 : 41 名
- ・夜間主コース : 25 名

各講師は、学生時代の生活、なぜ現在の就職先を選んだかなどの話題を織りませ、技術者としてのキャリアから技術者の仕事・ライフプランを、これまでの業務経験や社会人としての生き方などを通して丁寧に説明しました。また、技術士など資格取得の必要性、同窓会活動等による人脈形成等についても伝え、学生のキャリアプラン形成に資する内容でした。

講演の風景を写真 1~6 に示します。あいにく三井さんは、当日体調を崩され、ビデオ講演となりました。

聴講する学生は、前の方で熱心にメモを取る人がいる一方で、教室の 1 番後ろでうつむいている人、全く別な書籍を読んでいる人もおり、自分たちの学生時代を彷彿させる風景を見る事ができました。



写真 1 水元技術士会 田中会長の講演



写真 2 神保さんの講演



写真 3 伴野さんの講演



写真 4 三井さんのビデオ講演



写真 5 講義風景 1



写真 6 講義風景 2

#### (4) アンケート結果

今回の講義では、すべての講演が終了した後にアンケートを行い、今後の課題や学生の評価を把握することにしました。

わかりやすさと満足度を 5 点満点で評価を行ってもらいました。わかりやすさと満足度が両方とも平均 4.5 点という結果となりました(5 点が最もわかりやすく、満足度が高い)。今回の講演は、学生にも好評だったと感じています。

次にフリーアンサーの回答を以下に紹介します。

- ・「技術士の仕事について知らなかったことが多かったが、私も将来挑戦してみようと思いました」
- ・「実際に働いている方のキャリアを聞けて、具体例がよかったです。」
- ・「キャリアデザインは人生設計図ではなく、航海図である」という言葉が心に来るものがありました。自分から動かないと何も起こらないという心構えをもらいました。」
- ・「人とのつながりが自分の可能性を大きく広げてくれる。メリハリが大事。『早めの準備』が将来の自由度を増やす。」
- ・「同窓会の存在が、今後役に立つと思った。室工の同窓会が私の予想以上に大きくて、困った時に頼りになりそうだった。」
- ・「直接先輩方の話を聞くことができて、とてもタメになった。今後の参考に大いに役立つだろうと感じているのでとてもうれしかった。」

これらのアンケート結果から、我々が当初設定した目標は達成できたのではないかと考えています。

## (5) 今後の課題

次年度以降、今回のようなキャリアデザイン講義の 1 コマを使用させていただいた講演が実施できるかはわかりませんが、アンケート結果や反省点を踏まえ、より良い講演ができればと考えています。以下に、講演を終えて感じた主な課題を示します。

- ・今回の講演者は、技術士の建設部門取得者が多かったが、できれば電気や化学など多種・多様な専門を有する卒業生による講演が望ましいと思いました。
- ・本学在学者の女子学生の割合が、15%前後であることから、女性技術者の声も届けることができれば良いと思いました。
- ・質問の時間を設けましたが、質問をしてくれる学生の数が低調であったことから講義の進め方に工夫が必要と感じました。

これらの活動を通して、同窓会が掲げる室蘭工業大学同窓会 VISION の 1 つである「学生との交流事業を推進する」に少しでも寄与できれば考えております。

文責：平成 2 年開発卒、熊倉 聰